

**平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



令和元年 12 月

海老名市立杉本小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

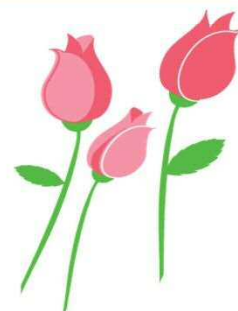
- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

平成 31 年 4 月 18 日（木）



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
- ・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
- ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
- ・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
- ・目的に応じて、質問を工夫する
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
- ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすること。
- 目的に応じて、質問を工夫すること。

◆課題のある点

- 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にして、まとめて書くこと。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと
- 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 自分の考えが伝わるように書くために、事実と考えを区別して書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめたりすることができるよう指導していきます。
- 文章を書く様々な機会を捉えて、文脈に沿って接続語の役割を理解させるとともに、接続語を使って文を分けて書くことができるよう指導していきます。
- 新出漢字を繰り返し練習するだけでなく、漢字のもつ意味を考えながら正しく使ったり、同音異義語に注意して使ったりする習慣をつけられるよう指導していきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・台形について理解している
- ・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
- ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
- ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
- ・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
- ・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
- ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
- ・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
- ・示された除法の式の意味を理解している
- ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
- ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 資料(グラフ)の特徴や傾向を基に考察したり、複数の資料の特徴や傾向を関連付けて判断したりすること。
- 示された場面から、伴って変わる二つの数量を見出し、数学的に処理して判断すること。

◆課題のある点

- 図形の性質や構成要素に着目して、図形を観察・構成したり、図形について筋道を立てて考察し表現したりすること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 図形の学習では、図形の性質や構成要素に着目させ、観察や操作などの活動を通して、図形の実感的な理解を深めていきます。また、面積の計算の仕方については、図形を分割したり、等積変換したりするなど、筋道を立てて考察する機会を増やしていきます。
- 校内研究のめざしている「かわり合いながら、主体的に学ぶ子どもたちの育成」に沿って、児童相互の意見交換を通して、数学的な見方や考え方が深まるよう、交流の機会を増やしていきます。
- 「数量や図形についての基本的な知識・技能」は、ドリル学習等を活用し、今後も繰り返すことにより、定着を図ります。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○国語と算数ともに「国語(算数)が大切だと思う」とほぼ全員が答えています。また、どちらの教科においても、「学習したことが将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えている割合が高くなっています。

○読書が好きと答えた児童の割合は、全国の平均より15ポイント以上高く、読書への関心の高さがうかがえます。

◆本校の課題と思われるところ

○国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていると答えている児童の割合が低くなっています。

生活について

◆本校のよかったところ

○約9割の児童が同じくらいの時間に起床することができます。また、ほぼ全員の児童が毎日朝食を食べています。

○「いじめはどんな理由があってもいけないこと」だと思っている児童が多数を占めています。

◆本校の課題と思われるところ

○今住んでいる地域行事に参加したり、地域や社会をよくするために何をすべきか考えたりする児童の割合がやや低くなっています。

○「学校のきまりを守っています」と答えている児童の割合が低くなっています。

今後の具体的な取組について

○「生活科・総合的な学習の時間」の校内研究をととして、年間カリキュラムを再構築していきます。その際に、他教科とのつながりを考えたり、地域等の外部人材の活用を考えたりしながら、効果的な学習の場をつくっていきます。また、地域社会とのつながりをより実感できるように支援していきます。

○学習の中で、「かわりあい」を効果的に活用しながら授業の組み立てを考えていきます。その中で、目的に応じて、自分の考えを話せるよう系統的に指導をしていきます。

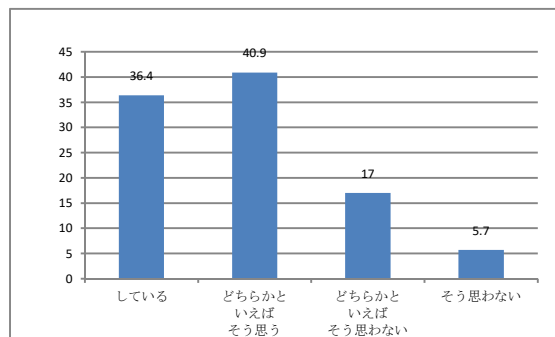
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

規則正しい生活を送りましょう。

規則正しい生活は、成長期の子どもの成長を促進すると共に、一日を元気に過ごすために大変重要です。テレビやゲームなどの画面から強い刺激を受けると睡眠の質が低下すると言われています。就寝前の生活を見直すなど、規則正しい生活をおくるための環境づくりをしましょう。

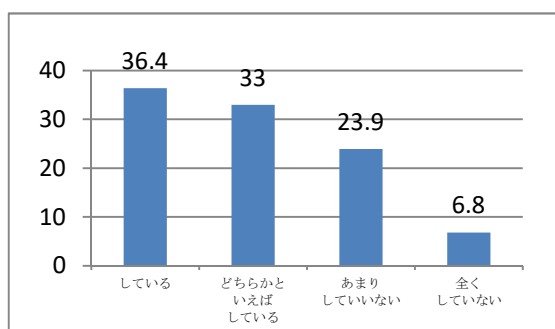


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2

計画的に家庭学習に取り組みましょう。

普段の月曜日から金曜日には、1時間以上家庭学習をしている児童が60%をこえています。一方、自分で計画を立てて勉強することができる児童の割合はやや低くなっています。自学自習の習慣が身につくようご家庭でもご支援をお願いします。

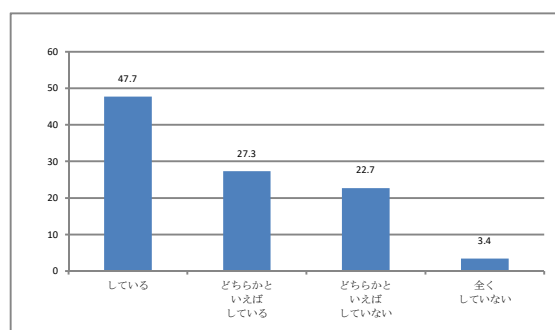


家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

3

学校での出来事について話す機会をつくりましょう。

自分にはよいところがあると感じられている児童の割合がやや低くなっております。学校でも、児童の頑張りを認め、褒める機会をつくっていきます。ご家庭でも、その日の出来事を話し、頑張りに対して是非褒めてあげてください。

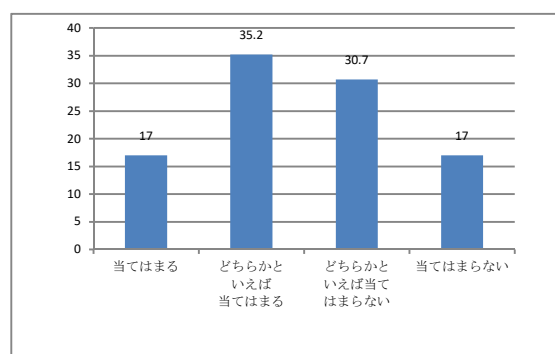


家の人と学校での出来事について話をしますか

4

地域の行事に進んで参加しましょう。

地域や社会について考える機会が少ないようです。家族の支えとともに地域や社会との結びつきが生活を支えています。家族で地域について話す機会をもったり、地域行事に積極的に参加したりするなど地域とつながる機会をつくりましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【学 校 生 活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。
全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

